



2月の園だより

令和5年2月1日
目黒区立田道保育 園長

寒さ厳しい青空の下、園庭では子どもたちが走りまわって歓声をあげています。外に出たときは肩をすくめていた子もおすもう体操でウォーミングアップをすると寒い体を温めようと自然に体が動きだし、保育士や友達と追いかけて楽しんでます。

先日、幼児クラスが“でんどうランド（お店やさんごっこ）”を開催しました。「いらっしゃいませ」と大きな声で呼び込みをする3歳児クラスの子どもたちはお客さんがくると「カップにしますか、コーンにしますか」と尋ね、メニューを見ながら選んでいる客役の子の注文を待てずにアイスのカップに入れ始めたり、注文が一つ入ると、何個もアイスが出てきたりと大賑わいで張り切っていました。4歳児クラスは縁日です。魚釣りコーナーに行くと、「長い竿と短い竿どちらにしますか、長いのは難しいです」「大きい穴があいている魚は釣るのが簡単です」と手作りグッズの説明や攻略のヒントなど説明名人がたくさんいました。そして5歳児クラスはお化け屋敷でウォーリーを探せです。前日までに友達と協力して作った大道具はアイデアが詰まっています。「顔が見えると怖くない」「当日は黒い服を着てくるね」と作戦を練って臨んだおばけだったので3、4歳の子どもたちや保育士が驚いたり怖がったりして喜んでいるのを見て、大満足の表情でした。様々な行事を通して、友達と喜び合うことの嬉しさ、準備や練習の中で自分の考えを認めてもらう心地よさを感じています。

先月後半より、懇談会が始まりました。一年間の成長を保護者の方と振り返り、一緒に喜び合える時間にしていきたいと思います。お忙しいと存じますが、ご参加頂けたら幸いです。

今月の予定

節分
中旬 避難訓練・身体計測

すもう月間



懇談会日程

2歳児クラス
4歳児クラス
0歳児クラス
3歳児クラス



『コトコト グツグツ』

調理・栄養士より

調理をしていると、調理室の窓を“トントン”と叩く音が聞こえます。振り返るとホールの活動を終えた乳児クラスの子どもたちが「ばいばい」と手を振っています。「頑張ってお飯つくるね」と手を振り返すと嬉しそうに頷いてくれ、より一層調理に力が入ります。幼児クラスの子どもたちは、とうもろこしの皮むき、青菜ちぎりなどを手伝ってくれます。きれいにむいたりちぎったりして戻ってくる野菜を見て、野菜に愛情をもって頑張ってくれたことを感じます。「お昼ご飯に出るからね。いっぱい食べてね」という声かけに「わかった」と元気よく返してくれる日々の何気ないやりとりも楽しい時間になっています。

昆布とかつお節をコトコト煮出す和風だし、鶏ガラと香味野菜を大鍋でグツグツ鶏ガラスープ。毎日手作りの美味しい匂いが子どもたちに届き、食べることを楽しみにしてくれるよう、安心安全でおいしい給食づくりを心がけています。

～たべるってたのしいな～

子どもたちが毎日楽しみにしている食事。

今回は乳児クラスの“食”に関するエピソードをご紹介します。



『 おいしいね 』

0歳児クラス（めだか組）

「ごはんだよ」と声をかけるとすぐに食事コーナーの扉に向かう子どもたち。手洗いを済ませ、テーブルの方へ行くとお皿に顔を近づけ「今日はなにかかな…？」と覗きこんでいます。座るとエプロンをつけるのも忘れてすぐに手を伸ばす姿からは“食べたい！”という意欲や食事への楽しみが伝わってきます。手づかみやスプーンを使って自分で口まで運んで食べられることも嬉しく、どれ食べようかな…と自分の好きな物を選ぶ様子も増えてきました。周りで一緒に食べている友達のことよく見ている、ある日の給食で「人参おいしいね」と保育士が一人の子に声をかけているのを見ると、“私も”と人参を口に運び「おいしい」と言う姿がありました。「人参一緒だね！おいしいね。」と返すとにっこり。子ども同士で笑い合う様子が微笑ましいです。みかんの酸味にすっぱい顔になったり、パンの耳を噛みちぎろうと眉間にしわを寄せたりといろんな表情を見せながら毎日の食事がとても楽しい時間となっています。

『 だいこんあまい？ 』

1歳児クラス（あひる組）

テラスで育ててきた二十日大根の収穫をしました。丸いもの、長いもの、大きいもの、ちょっぴり小さいもの、様々な形がありよく見ていました。給食時に塩もみにしてもらおうと、実が赤くキラキラしていて、まるで飴玉のような見た目に子どもたちも目を輝かせています。まずはじめに保育士が食べ「わあ、あまい」と言うと、その一言に期待がますます大きくなって「いただきます」と大きな口で頬張りました。しかし、大根特有の苦みを感じたのでしょうか。“ん？”といった表情で止まり、“先生甘いって言ったのに違うなあ…”と言っているような表情が微笑ましかったです。それでも口から出したり、嫌だということはなく、しばらく味わった後一人の子が「あまい！」と言いました。すると次々に他の子からも「あまいね」という声が続きます。自分たちで収穫した二十日大根の“ちょっぴり大人の味”を美味しくいただきました。



『 みんなでとった小松菜 』

2歳児クラス（らっこ組）

らっこ組では小松菜の種を撒き、毎日水やりをしてきました。その度に覗いては「大きくなってきた」と生長を楽しんで見ていた子どもたちです。「大きくなったからそろそろ食べられそうだね」と話すと、「もうとっていいの？」と嬉しそうに収穫に向かいました。たくさんできていたので収穫や土洗いを何度も楽しんだ後、栄養士に茹でてもらい食べることを話すと今度は食べられることが楽しみになり「調理さん来る？」「食べるの？」と話していました。目の前で茹でてもらい一口食べると興奮ぎみに「うわ、おいしいね」「みんなでとったから美味しい」ともりもり食べ進め、いつもは葉物野菜が進まない子も「食べれたよ」と得意気に頬張っていました。自分でとった小松菜はやはり格別で、美味しかったようです。はりきって水やりをしたり、生長を楽しみにする姿からは“自分たちが育てている”実感があることを感じます。栽培を通して食べてみようとする気持ちや食への興味に繋がっているようで嬉しいです。